

「令和6年度たきざわ自分ごと化会議」 提案書

～ 滝沢市の情報発信の在り方について～



令和7年4月

令和6年度たきざわ自分ごと化会議

メンバー 一同

目次

1 はじめに	P3
2 「たきざわ自分ごと化会議」の概要	P4
3 検討の内容	P6
4 私たちの提案	P9
5 付録(メンバーアンケート結果第1回～第4回)	P19

●表紙の写真 メンバーの決意表明(まず、何からやってみる?)

- ・さいごまでたのしくらしきる
- ・受け身はポイッ！！
- ・地元を夢を！
- ・協力！！
- ・滝沢市を更に愛す！！
- ・SNS でフォトエッセイの運営をしてみる！！
- ・地元を明るく楽しくする
- ・それも、じぶんごと
- ・興味を持つ 滝沢市に、地域のことに！！
- ・滝沢市を良くするために挑戦
- ・行動する！
- ・めざせ滝沢市マスター！ たべてみる！行ってみる！伝える！

I はじめに

私たちは、令和6年12月から令和7年3月にかけて、全4回の日程で「たきざわ自分ごと化会議」に参加しました。

無作為抽出により選ばれた市民の中から手を挙げた、10代から70代の私たち18名がメンバーとなり、「市の情報を得る手段とあり方について」をテーマに議論を重ねました。

参加を決めたきっかけとしては、自分が気になっている事柄について発信できるかなといった思いや、自身がこれまで経験したことやキャリアを活かして発言できるかなといった思い、また、滝沢市についてもっと知ることができるかなという思いなどそれぞれの思いがありましたが、何より「せっかく選ばれたのだから！」という気持ちで集まりました。

会議の中では年代や性別はもちろんのこと、住んでいる地域や職業なども異なる様々な属性のメンバーから、多種多様な意見が出ました。

メンバーからは「決して人数は多くないのに、こんなにも多様な意見が出るのか」「様々な立場の人の意見をたくさん聞けて楽しかった」などの声が聞かれ、最初は個々だったメンバーたちが、回を重ねるごとに相互につながりができて線になり、3回目、4回目には輪になっていったように感じます。

また、回を重ねるごとに、今までは「市にやってもらいたい」という思いだったものが、「自分でもできるのではないか」、「できることを見つけていくんだ」という気持ちに変化していったことを自ら感じました。

この自分ごと化会議を通じて私たちは「行動することが大事である」ということがわかりました。

このような考えの変化を体感しながら、この度、滝沢市の情報発信の在り方について、私たちの思いを提案書としてまとめました。

市は、やさしさに包まれた滝沢を目指し、事業展開の手法として「魅力ある情報の発信」を掲げています。

この提案書によって、市民のニーズに応えながらも効率的で、必要な情報が分かりやすく伝わる環境につながり、そこから「滝沢市を知り、魅力を知る^{イコール}＝市を好きになる、暮らすのが楽しくなる」という思いが生まれ、最終的にはその一つ一つの思いが、優しさに包まれた滝沢につながっていくことを期待します。

私たちのように、市に興味を持ち、市や地域の課題を「自分ごと化」できる人が増えるように、私たちも一緒に実践していきたいと思います。

令和7年4月 たきざわ自分ごと化会議メンバー一同

2 「たきざわ自分ごと化会議」の概要

令和6年12月から、「市の情報を得る手段とあり方について」をテーマに、無作為抽出で選ばれた市民による議論を行いました。

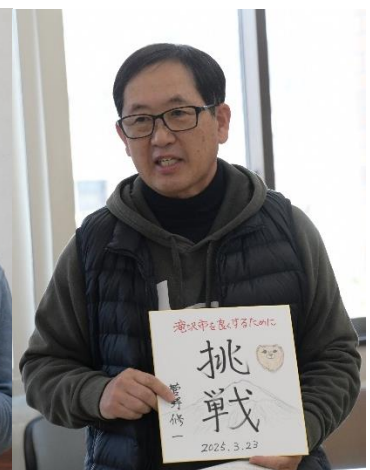
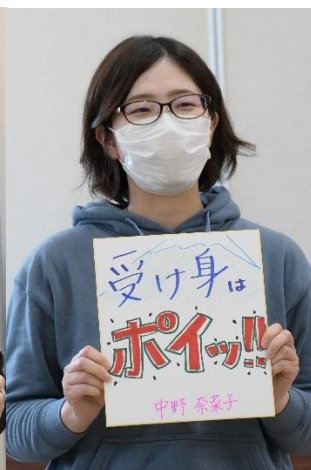
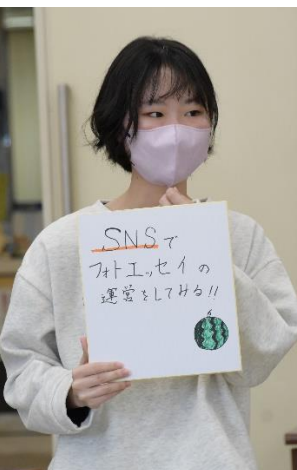
会議参加者

メンバー	参加メンバー 18 名 ※住民基本台帳より無作為に選ばれた 2,100 名のうち、参加を希望した者（10 代～70 代）。（掲載許可をいただいた方のみ記載しています）		
	赤松 祐介	浮中 由美	大越 幸子
	大畑 佳代子	川島 颯太	菅野 修一
	菊池 結衣	菊池 麗未	小西 誠一
	笹木 進	関 亜佳音	武田 奈美子
	中野 奈菜子	西村 英治	八木田 和幸
	吉田 英未	【五十音順】	
ファシリテーター	・柏崎 亮太（かしわざき りょうた）氏：（一社）構想日本 フェロー、柏崎企画代表 ※第 1 回から第 4 回に参加。グループワークでは A 班を担当。 ・加藤 勝（かとう まさる）氏：（株）官民連携事業研究所 取締役 ※第 2 回から第 4 回に参加。グループワークでは B 班を担当。		
ゲストスピーカー	・澤 正史（さわ まさふみ）氏：三ツ目（株） 代表取締役兼 CMO ※第 3 回にゲストスピーカーとして登壇。豊富な経験から、情報発信による行政と市民の関わり方、「自分ごと」として行動に起こすことなどについて、事例などを紹介いただいた。		

各回会議の概要

第1回	令和6年12月15日（日）午前9時半～午後0時半《市役所2階大会議室》 【内容】市長あいさつ、自分ごと化会議の説明（柏崎亮太氏）、開催趣旨やテーマ、市の現状と課題についての説明（市）、メンバーの自己紹介など
第2回	令和7年1月26日（日）午前9時半～午後0時半《市役所2階大会議室》 【内容】提案書（案）の説明（市）、第1回の振り返りシートをもとに2班で議論、ワークシートの作成など
第3回	令和7年2月23日（日）午前9時半～午後0時半《市役所2階大会議室》 【内容】第2回までの内容（4つの提案など）を盛り込んだ提案書（案）の記載内容について2班で議論、ゲストスピーカー講演（澤正史氏）、ワークシート作成など
第4回	令和7年3月23日（日）午前9時半～午後0時半《市役所2階大会議室》 【内容】提案書（案）の内容確認、メンバーの決意表明など

会議の様子（写真）



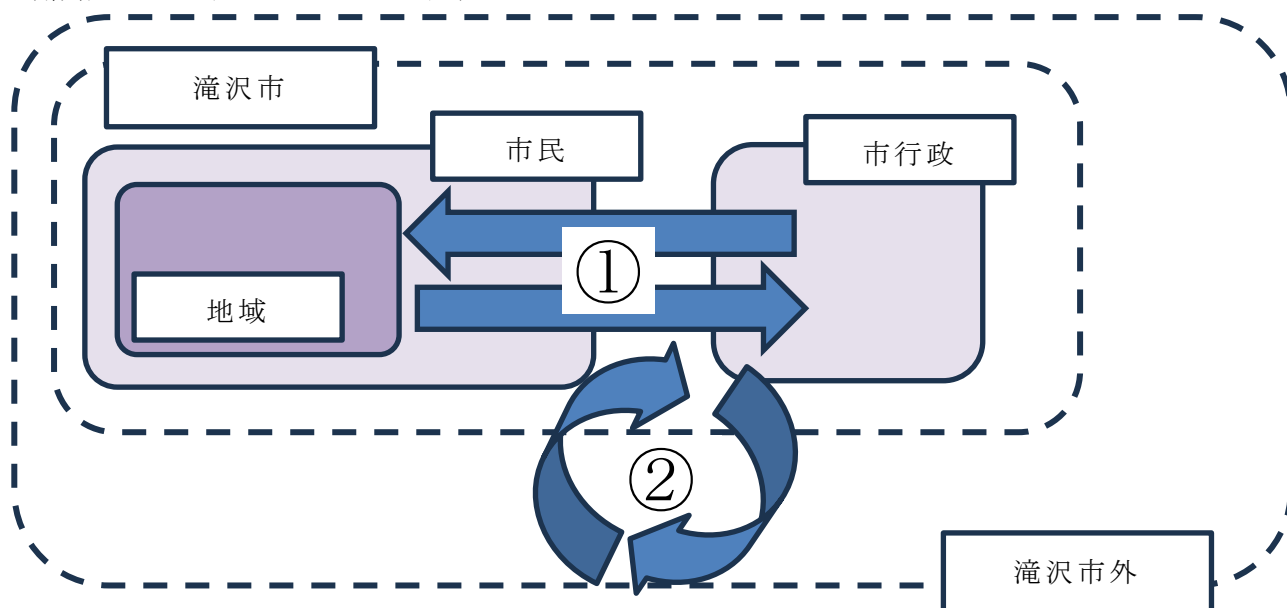
3 検討の内容

私たちは、「市の情報発信の在り方」をテーマに、市内での情報発信に関すること、市外に対する滝沢市のPRに関すること、そのほか周囲の困りごとの共有などについて、現在抱えている課題を整理し、様々な意見交換を行いました。

そして、それら課題を整理し、4つの改善事項としてまとめ、それぞれ「私たち市民」「地域」「行政」の3つの活動主体の具体的な取組内容ごとに分けて記載しています。

私たちの提案を図示すると次のようなものになります。

(情報のやり取りのイメージ図)



ポイント① 双方向性（わかりやすい市政情報の発信／市民の困りごとが伝わること）

会議では市からの情報の発信について、「もっと興味を持てる情報を提供して欲しい」や、「必要とする人に情報が届くようになって欲しい」という意見がありました。市の情報をわかりやすく発信することは、市民の理解と参加を促進し、信頼関係を構築し、市民サービスの質を向上させるための重要な取組です。また、一方、市からの情報の一方的な発信だけではなく、市民の“困りごと”を的確に捉えたり、市政に対する市民からのフィードバックや意見を受け入れ、市民のニーズを市政に反映させるための取組に関する意見もありました。それらを含め、市と市民の双方向の情報のやり取りが効果的に行われる環境を構築することが重要です。

ポイント② 市の魅力を市内外に伝えること

会議では、「市のおすすめスポットなどは、市からの情報ではなく、SNSで探す」といった意見もありました。市政情報や、市民の困りごとの双方向のやり取りだけではなく、市の魅力を発掘し、市内そして、市外に発信することは、地域経済の活性化、市民の誇りとコミュニティの強化、市のイメージの向上などの観点から、重要な取組となります。これらの取組を総合的に進めることで、市は持続可能な発展を遂げ、市民と外部の人々にとって魅力的で住みやすい環境を提供することができます。

ポイント③ まず自分たちが行動すること

第3回の開催にあたりゲストスピーカーの講演を聞いたことで、この会議を通じて課題を「自分ごと化」として捉え、「自分たちに出来ることを考える」意義に改めて“気付かされ”、メンバー個々の自分ごと化会議に対する向き合い方を変える、大きな転換点になったと感じています。

「このまちが好き」「楽しいから」といった行動の原動力があれば、市ではなく、市民が主体となることができることもたくさんあるということに気づき、私たちに「行動する」という意識が生まれ、私たちの考え方は大きく変わりました。

私たち市民が主体的に行動し、それぞれの得意分野やそれぞれができることで情報発信に携わっていくことができれば、市民がより市を好きになり、市への愛着にもつながっていくと思います。

Step1

提案

市に興味を持とう



- ・滝沢を探検してみる
- ・市でしかできないことを探す
- ・普及啓発など、自分の得意分野で貢献するなど



- ・自分で調べる、行動する
- ・人伝いやグループ、SNSなどで発信する
- ・産学官連携の橋渡し
- ・イベントなどへの参加など

Step2

提案

それぞれに必要な情報が分かりやすく伝わる環境をつくろう



行政

- ・市民や地域のやりたいことのバックアップ
- ・文字だけでなく写真を増やした発信をする
- ・仲間づくりの機会をつくるなど



地域

- ・地域の観光や物産を広げられるようなイベント開催
- ・地域での集会や交流
- ・共通の趣味などを持つ人で集まり活動するなど



地域

- ・近所での交流
- ・地域での広報活動
- ・掲示板の活用
- ・集まれる機会をつくるなど



行政

- ・適切な情報をタイムリーに発信する
- ・広報の紙面を楽しく読めるように工夫する
- ・届けたい相手によって発信の手段を変えるなど

4つの提案と概要

Step4

提案

市の魅力を、市内外のいろんな人に知ってもらおう



市民

- ・滝沢を知る、魅力を知る
- ・SNSなどで県内外の知り合いに情報提供する
- ・フォトエッセイの運営
- ・イベントの開催など



市民

- ・市への情報提供
- ・市民が積極的に情報発信する事で、コミュニティを活性化させる
- ・近所との交流（あいさつ、情報交換）など

Step3

提案

市民が情報を得るだけでなく、困りごとなどを発信・共有し、市と双方向のやりとりができる環境をつくろう



行政

- ・HPや広報などでのPR
- ・ふるさと納税の魅力的な商品の募集
- ・メディアへのプレスリリースを頻繁にするなど



地域

- ・世代間交流の場づくり（様々な世代の人が集まり話し合える場）
- ・どんな魅力があり、どんなことができる場があるのか情報交換するなど



地域

- ・コミュニティづくり
- ・高校生や大学生など発信力のある若者を巻き込んで活動する
- ・地域内で声を掛け合うなど



行政

- ・市民が相談しやすい環境（受け皿）づくり
- ・個人や地域の活動について発信する
- ・相談窓口の存在を発信するなど

私たちは、4つの提案の循環により、市の魅力をPRできる機会を増やし、市のファンを増やすことができます。

提案の詳細

提案

1

市に興味を持とう

たきざわ自分ごと化会議に参加するメンバーと議論する中で、人によって「欲しい情報」は多様であることが分かりました。また、年代などによって、情報を手に入れるための手段や、使える媒体も様々です。それらを踏まえたうえで、私たち市民が必要な情報を得るためには、自分たちで情報を取りに行く、知ろうとする努力はもちろん、市や、市が発信する情報にもっと興味・関心を持ち、情報を拾い上げることができる環境を整える必要があると考えます。市について知ること、私たち市民が市の PR ができるようになることも重要です。

「提案 1」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち市民	①自分で学ぶ、答え合わせ出来る場所に行く ②詳しい人に聞く、市を知ろうとする ③広報を読む時間を決める（10分とか） ④ホームページをのぞいてみる ⑤滝沢をたんけんしてみる ⑥他市にはあるが滝沢には無い情報については資料を作る ⑦自分が発信者になる（SNSやロコミ、職場での話題、フォトエッセイを作る、神楽、音楽など） ⑧情報の収集・集約 ⑨市の魅力（市でしかできないことなど）を探し、気づく ⑩行事に積極的に参加する ⑪滝沢市の話題の中心になる（講座、フェスなどイベント開催） ⑫仲間をつくる（同世代、他世代） ⑬地域について深く知る機会をつくる ⑭小さなコミュニティを作る ⑮それぞれの得意分野で貢献する（普及啓発など） ⑯広報たきざわをもとに話し合う機会をつくる
地域	①清掃イベントの開催 ②人とたくさん話す、意見交換によるコミュニティの活性化 ③公民館での集会や交流（公民館、お祭りなど） ④地域ごとのイベント ⑤スポーツや運動イベントの開催（地域の観光・物産を広げられるようなもの）

	⑥特産品や名所の維持・管理 ⑦市にどんな魅力があるのか、どんなことを取り組める場があるのか知る機会を作る ⑧コミュニティとして市に関心を持つ ⑨地域の高校生が関われる機会を作る ⑩情報を発信する（YouTube、ラジオ、SNS など）、運営にも携わる ⑪祭りの場所の提供 ⑫仲間（ペット、スポーツ、趣味など）、知り合いが集まり協力する ⑬市への要望・意見をきちんと言う（発展的・肯定的に）
行政	①発信の際は分かりやすく、伝わりやすい言葉を使う ②文字だけでなく写真を増やした発信をする ③市の歴史紹介のイベントを開催 ④市の歴史書を貸し出す ⑤広報に掲載できない分は SNS に掲載する ⑥SNS を使っていない人のために、施設等に広報を置く ⑦イベントなどの情報を発信する（広報、HP、SNS など） ⑧個人、地域のバックアップ ⑨市民が知ろうとしなくても深く知ることのできる機会を増やす ⑩地域のやりたいことを反映する ⑪魅力的な PR 方法を考える ⑫市民の意見に耳を傾ける ⑬テーマや行事の提供 ⑭市民が能動的になれる場をつくる（インスタグラムで「#滝沢市のミリョク」を募集するなど） ⑮仲間づくりの機会をつくる ⑯施設の確保 ⑰滝沢市人材バンクの設置

提案 2

それぞれに必要な情報が 分かりやすく伝わる環境をつくろう

市の情報発信の現状と課題について説明を聞き、滝沢市では色々な媒体を使用して情報発信をしていることに驚いたと共に、それ自体を知らなかったこと（有効に届いていなかったこと）も認識しました。市民それぞれに必要な情報がきちんと伝わっている状態を理想に、「誰一人取り残さない情報発信」ができるように、発信する手段の検討や、各媒体での発信内容の整理が必要と考えます。

また、情報は「人と人とをつなぐもの」であり、市民それぞれが受け取った情報をどう活用し、誰につないで（伝えて）いくか、意識することで、より多くの市民に必要な情報が行き渡るようにします。

少し前までは、地域内での交流が盛んで、自治会などのイベントへの参加を通して、情報を仕入れる機会が多くありました。しかしながら、現在では交流の機会が減り、情報を得られる場が減少したことから、地域の役割についても改めて考えていく必要があると考えます。

「提案2」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち市民	①自分が知りたい情報を見つけて発信してみる（人伝いで伝える、グループで話題にする、SNS など） ②情報を得る手段を知る ③自分で調べる、行動する ④産・学・官連携の橋渡し ⑤滝沢市を広めたい人を見つける ⑥あらかじめ情報をもっておく ⑦市が「こうなったらいいな」を見つける ⑧イベントなどに参加する
地域	①コミュニティを作る・協力する ②広報活動 ③集まれる機会をつくる ④近所で交流を図る ⑤情報の共通認識を作る ⑥掲示板の活用 ⑦eスポーツ×情報弱者支援×健康増進×世代間交流イベントなど、要素の掛け算で遊びながら情報を手に入れられる機会の創出

行政

- ①お金に関することは広報の一面に大きく掲載する
- ②広報の紙面を楽しく読んでもらえるようにする
- ③紙面を拡大（A3）する
- ④より多くの情報を掲載する（おばあちゃんの知恵袋、重要性の高い話題、など。掲載依頼のボツもなくす）
- ⑤レイアウトを再考する
- ⑥広報たきざわの発行に沢山お金がかかっているの、より見てもらえる紙面になるように、大きさ、厚さ、回数、内容をもっと工夫する。
- ⑦どんな情報をどこで得られるのか、まとめを掲載する
- ⑧沢山の媒体で情報発信していることがあまり知られていないので、情報ごとに発信媒体を変える、発信や発行の回数など、広報と他の媒体の役割分担を考える。
- ⑨情報を得るためにはどうしたら良いのか具体的な方法をお知らせする
- ⑩議員の活動など、市が知ってほしいことも積極的にアピールしてほしい
- ⑪「滝沢市を広め隊」のようなグループを募集するなどの協力・支援
- ⑫個人や地域のバックアップ
- ⑬見てもらいたい人や年代によって情報源（手段）を変えていく
- ⑭市民が必要としている情報にすぐにたどり着くことのできるHPを作成
- ⑮ポスターの活用
- ⑯市民が情報提供できる場所（掲示板など）を設ける（ビッググループ滝沢の掲示板を拡大するなど）
- ⑰適切な情報をタイムリーに発信する
- ⑱テレビを見ている市民にピンポイントでテロップのように情報を出す（滝沢のブランディングカラーを使いつつ）
- ⑲他市町村の取り組みも参考にする
- ⑳市民が情報収集に使えるパソコンを設置する
- ㉑市役所に来るのが楽しくなるような工夫（市民が「ついでに」行政サービスを受けられるような、市役所のスペースを利用し、市民がふらっと立ち寄って情報交換などができるカフェサロンの設置など。）

提案 3

市民が情報を得るだけでなく、困りごとなどを
発信・共有し、市と双方向のやりとりができる
環境をつくろう

これまで、行政が発信した情報を私たち市民が入手する、一方向の関係が主でした。しかしながら、日々の生活の中で私たち市民が感じていることや、困りごとなど、市民の側から行政に向けて情報を発信する機会や手段が欲しいと感じています。

そこで、双方向に情報のやり取りが可能な環境を整えることで、より行政と市民のつながりを強化し、市民の満足度の高い、より良い滝沢市をつくっていくことができると思います。

「提案3」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち市民	① 市役所への情報提供 ② 近所との交流（あいさつ、情報交換） ③ 自分から情報を得て、積極的に発信する ④ 人とつながる ⑤ 企画・運営 ⑥ 思いを表現してみる（やってみたいこと、悩みなど） ⑦ 市民が多く情報を発信することで、コミュニティの活発化
地域	① コミュニティづくり ② 交流会への参加 ③ 祭りの企画 ④ 高校生、大学生なども巻き込んで活動する ⑤ 同じ思いを待つ人たちで集まって話してみる ⑥ 地域内で声をかけ合う
行政	① 欲しい情報などについて気軽に相談できる相談窓口（課）の設置 ② 情報を発信する ③ イベントの主催 ④ 個人や地域の活動の発信 ⑤ 相談しやすい環境づくり（市民の発信の受け皿をつくるなど） ⑥ 相談窓口の存在を発信する ⑦ 話せる場所（施設）の提供

提案 4

市の魅力を市内外のいろんな人に知ってもらおう

滝沢市には「市民も知らない・気付いていない隠れた魅力」があります。市内・市外に滝沢市を知ってもらい、市の話題が様々な場所から聞こえることで、私たちも喜びを感じ、市をもっと好きになると考えました。

まずは私たち市民が滝沢市の魅力に気づき、再発見し、市での生活をより楽しいものにするとともに、それを市内外の人にPRすることで、市民が市を誇りに思う機会が増えていくものと思います。

さらに、市を対外的にPRできる「たきざわブランド」を作ることで、滝沢市の認知度を上げ、市民も楽しみながら市をPRしていける環境を目指すことができると思います。

「提案4」の実現に向けて、それぞれが行うこと

私たち市民	①他の人（友人や知人）に伝える、一緒に出掛けてみる ②次の世代に残す ③PRにかかわる ④ボランティアでの清掃活動 ⑤滝沢を知る、魅力を知る ⑥他の市の現状も知っておく ⑦SNSで県内外の知り合いに情報提供する（LINEなど） ⑧フォトエッセイの運営 ⑨イベントを開催してみる（路上ライブ、風船に願い事を書く、スポーツ大会など）
地域	①皆で滝沢を知る ②どのような魅力があるのか、どのようなことができる場があるのかを伝え合う ③子ども会などで世代間交流できる場を設ける ④地域で盛り上げる努力をする ⑤地域外や市外の人への情報発信 ⑥自分ごと化会議のように、様々な世代の人が集まって話し合いができる場を創る

行政

- ①おすすめスポットを出す場を作る
- ②広場や公園、桜並木を作る
- ③クラウドファンディングの活用
- ④総合公園のバラ園を拡充、バラの種類を充実させる
- ⑤バラの開花情報を広報でお知らせ
- ⑥バラ園の整備などを専門家に有償でお願いする
- ⑦滝沢を知る機会を設ける
- ⑧ホームページや広報などで PR する
- ⑨市内外への魅力的な PR について考える
- ⑩市のいろいろなものと周年タイアップ（水 50 周年で水に関するアニメやキャラクターなど）
- ⑪1 年を通して、家庭で育てやすいものなど野菜をテーマにして発信する（野菜のおいしさの発信や農家さんとの協力も）
- ⑫良かったフォトエッセイを広報紙などに掲載する
- ⑬ふるさと納税の魅力的な商品の募集など
- ⑭「滝沢テレビ（番組）」をつくる
- ⑮防災無線のように全家庭に情報が届くようなシステムを構築（市民向け）
- ⑯メディアへのプレスリリースを頻繁にする
- ⑰滝沢市の給食は美味しいので、市民にふるまう機会を作る

上記以外の主な提案

現状の課題	解決のためには	自分に出来ること
バス路線の充実、どうしたら県立大学、盛岡大学の学生、また留学生に市のイベントに参加してもらえるか？	県立大学、盛岡大学から滝沢ふるさと交流館やビッグルーフ滝沢への路線を設ける。(午前2本、午後3本程度)	県立大生、盛岡大生、また留学生にバス路線を紹介する
交通の便が悪い	公共交通機関の充実	納税
市民の安全を守るための行政サービスの向上	事件を未然に防止するための監視カメラの設置	自分で設置する 自分の命は自分で守る
ゴミ収集と一致したゴミを出すようにするには	・収集種別を大まかにする ・ゴミ毎の収集日を明確に掲示する	収集に合わせたゴミ出し

5 付録 メンバーへのアンケート結果

たきざわ自分ごと化会議

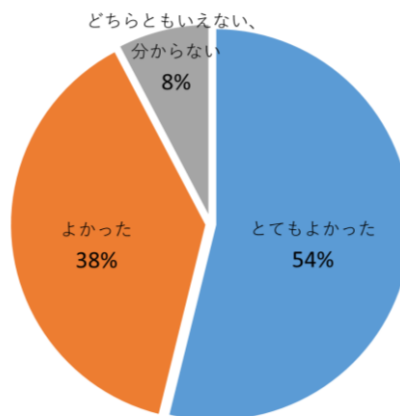
第1回アンケート結果（12/15 開催）

出席者：14名

アンケート回答：13名

●会議に参加してみてどうでしたか

とても良かった	7
良かった	5
どちらともいえない、 分からない	1
良くなかった	0
まったく良くなかった	0

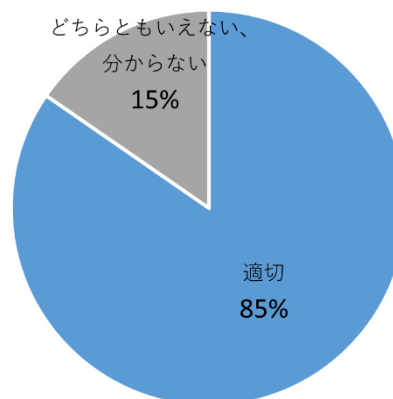


【主な意見】

- ・ 普段交流のない方の意見を知ることができ、勉強になった。
- ・ 様々な意見がとびかっいて多くの視点から考えることができた
- ・ 今後の会議がどのように発展していくのか楽しみ

●開催日（日曜日）の設定についてどう感じましたか

適切	11
不適切	0
どちらともいえない、 分からない	2

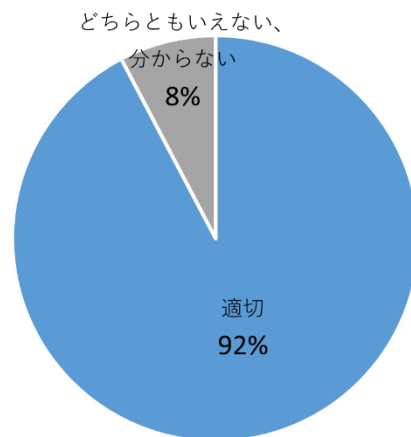


【主な意見】

- ・ バスがなくてくるのが大変だった

●開催時間（午前9時～午後0時半）の設定についてどう感じましたか

適切	12
不適切	0
どちらともいえない、 分からない	1



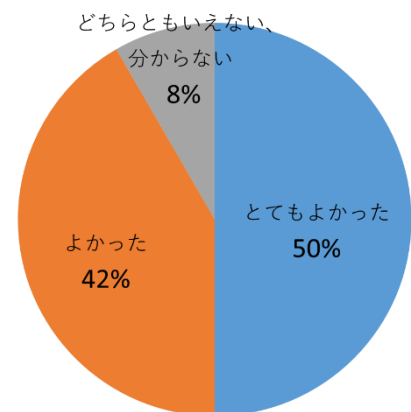
【主な意見】

- ・9:30～11:30で2時間程度が良い

●ファシリテーターの進行やまとめ方はどうでしたか

※未回答 1 名

とても良かった	6
良かった	5
どちらともいえない、 分からない	1
良くなかった	0
まったく良くなかった	0

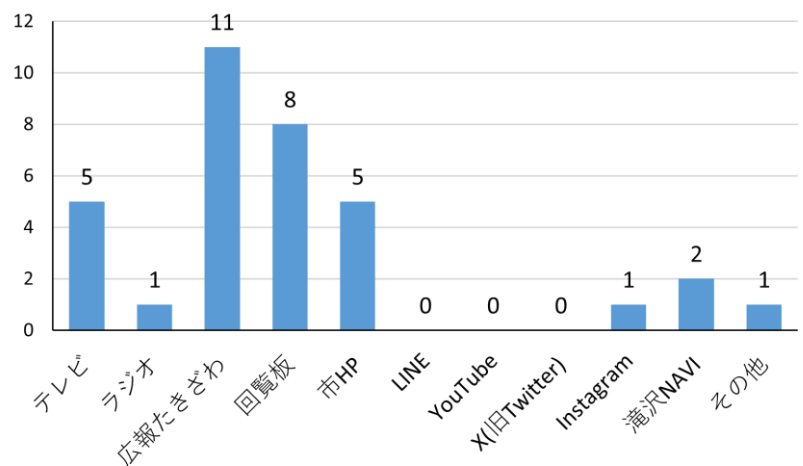


【主な感意見】

- ・大変わかりやすく、楽しく聞くことができた（プチ情報も良かった）
- ・スマートで皆の意見を広げたり話をふったりしてくれた。安心して自分の意見が言える感じがした。

●普段、市の情報を何で得ていますか（複数回答可）

テレビ	5
ラジオ	1
広報たきざわ	11
回覧板	8
市HP	5
LINE	0
YouTube	0
X（旧 Twitter）	0
Instagram	1
滝沢 NAVI	2
その他	1



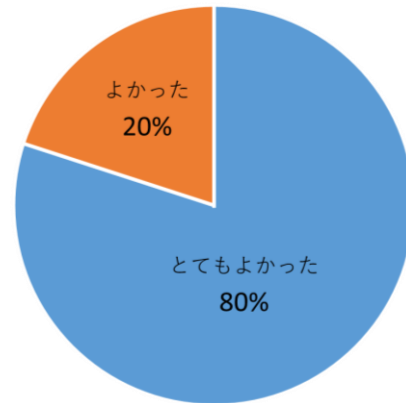
第3回アンケート結果（2/23 開催）

出席者：15名

アンケート回答：15名

●会議に参加してみてどうでしたか

とても良かった	12
良かった	3
どちらともいえない、 分からない	0
良くなかった	0
まったく良くなかった	0

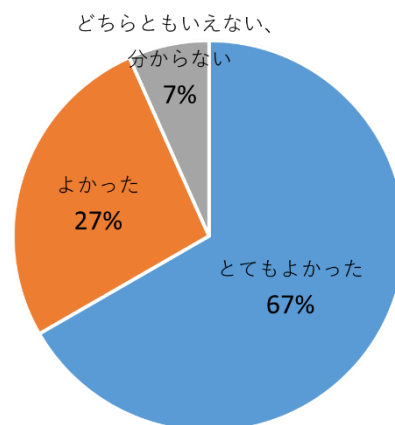


【主な意見】

- ・澤さんのお話を聞いて、考え方が「自分ごと」に考えられるようになった
- ・内容は理解できているが、やはり情報発信って難しい
- ・滝沢市をもっと良くしたいという意識が高まった
- ・課題が大きすぎる感じがあって、何から手を付けて良いか難しさがある
- ・市に全て投げるのではなく、自分から何かを進めていくことの大切さを学んだ

●ファシリテーターの進行やまとめ方はどうでしたか

とても良かった	10
良かった	4
どちらともいえない、 分からない	1
良くなかった	0
まったく良くなかった	0



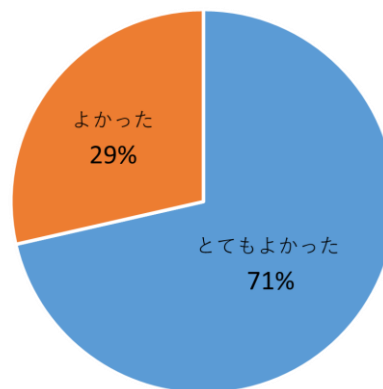
【主な意見】

- ・明るく話を進めてくれて全員が気持ちよく話し合いに参加できた
- ・参加者の意見への傾聴力がすばらしく楽しく意見が言えた
- ・ゆっくり無理ない進行だと思った
- ・考えを引き出す力がすごかった

●ゲストスピーカーの進行やまとめ方はどうでしたか

※未回答 1 名

とても良かった	10
良かった	4
どちらともいえない、 分からない	0
良くなかった	0
まったく良くなかった	0



【主な意見】

- ・楽しく、また、ポジティブになれる講演だった
- ・興味深い話だった。行動力は大事だと感じた
- ・私も滝沢市でしかできないことをして、滝沢市の良さを有効活用したり、美味しいものを食べてみたりすることで市を好きになってみたいと感じた

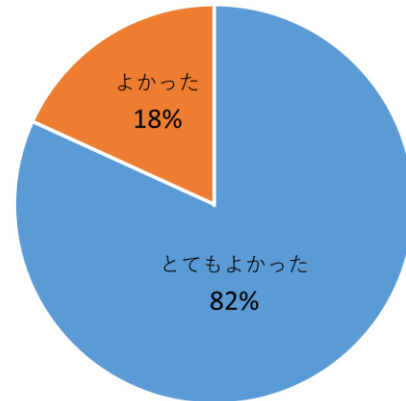
第4回アンケート結果（3/23 開催）

出席者：12名

アンケート回答：11名

●会議に参加してみてどうでしたか

とても良かった	9
良かった	2
どちらともいえない、 分からない	0
良くなかった	0
まったく良くなかった	0

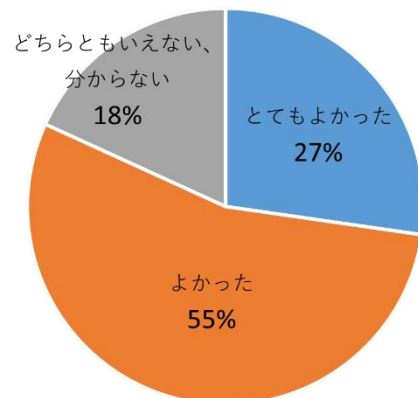


【主な意見】

- ・最終回の盛り上がりを見て良かったと思えた。
- ・いろいろな世代の方々と話す機会はあまりないので、皆さんが思っていること、こうしたら滝沢が良くなるんじゃないかなどいろんな意見を聞くことができ、充実した会議でした。
- ・会議の名の通り、自分ごととして物事を捉えられるようになった。

●全4回の回数の設定はどうでしたか

とても良かった	3
良かった	6
どちらともいえない、 分からない	2
良くなかった	0
まったく良くなかった	0

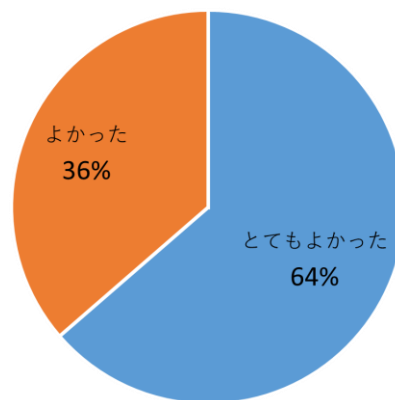


【主な意見】

- ・もう少し回数が多くてもいい。
- ・終わりが見えているので集中できたように思う。
- ・1回休んでしまい残念だった。
- ・たった4回でも、しっかりとした話し合いができたと思います。
- ・単発のほうが皆さん参加しやすいのでは。

●会議の開催頻度（月１回）はどうでしたか

とても良かった	7
良かった	4
どちらともいえない、 分からない	0
良くなかった	0
まったく良くなかった	0

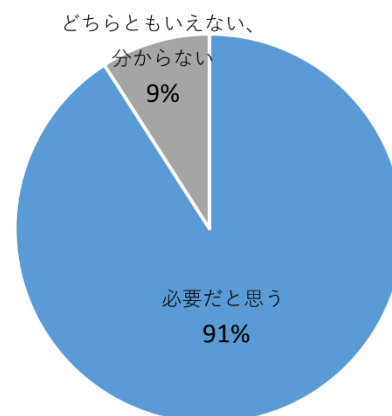


【主な意見】

- ・自分自身で内容をかみくだいていくためにも月１回で良かったと思います。
- ・日曜日ということで参加できなかった回もありましたが、適正だと思います。

●この会議のように無作為抽出の手法で議論するやり方についてどう思いますか

必要だと思う	10
必要だと思わない	0
どちらともいえない、 分からない	1

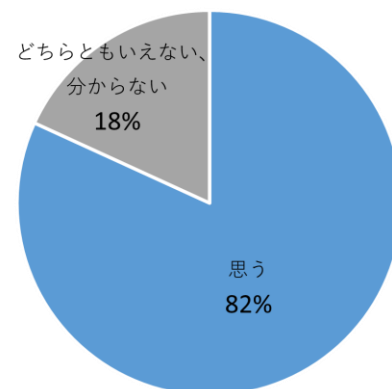


【主な意見】

- ・多種多様の人たちの意見が聞けていいと思う。
- ・自分は全く興味がない状態から、当選確率が低いことに当たったからやってみようと思ったので、そういう人がいるかもしれないと思うから。
- ・どちらでもいいと思っている人は、まず立候補制では参加しないので、無作為にした方が良くと思います。

●今後、住民同士で市や地域の課題について議論・意見交換できる場があれば参加したいと思うか。

思う	9
思わない	0
どちらともいえない、 分からない	2



【主な意見】

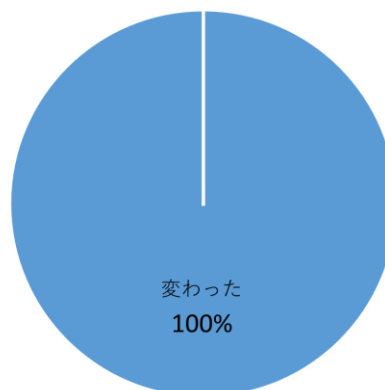
- ・しっかりとしたテーマがあれば参加したい。
- ・知らない情報を聞けるのはとても良いことだと思います。

●会議に参加したことで「意識」に変化はありましたか。

変わった	11
変わらない	0
どちらともいえない、 分からない	0

【主な意見】

- ・自ら行動することが大切だと思いはじめた。
- ・地域の良いところ、悪いところを
会議のメンバーの視点で見るようになった。（肯定的に）

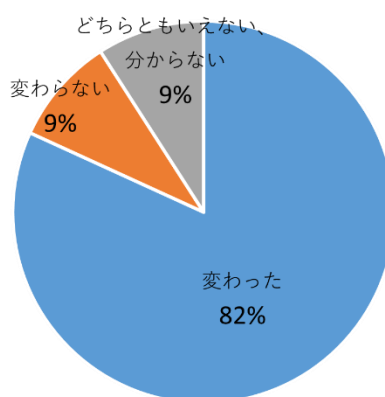


●会議に参加したことで「行動」に変化はありましたか。

変わった	9
変わらない	1
どちらともいえない、 分からない	1

【主な意見】

- ・広報を全ページ読むようになりました。
- ・市のいいところを探すようになった。
- ・滝沢市以外での市町村の住民へのサービスはどのようなものがあるか情報を得るようになった。
- ・滝沢市の情報を意識するようになった。



●これまで行政とどの程度接点がありましたか。

頻繁にある （月1回以上）	2
年に数回はある	2
ほとんどない	7

【主な意見】

- ・自分から関わろうとしない限りはない。
- ・行政区の班長をする時くらいしか接点はないような気がします。

